

「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵 12 日間」を 5 月 11 日～5 月 22 日に行いました。

天溪ツアーはインカの都クスコからマチュピチュに続くインカ道の最終部分を 3 泊 4 日かけテント泊でトレックします。目的地のマチュピチュ遺跡に到るまで、移り変わる植物体系、点在する数々の遺跡、4200m の峠越えと 3600m の高地泊、絶壁を芸術的に石組した道など、中々ワイルドで素晴らしいトレックが楽しめます。

ところで「マチュピチュ遺跡は天空都市で雲上の台地に有る」と思われがちですが、実は標高 2400m。クスコより 1000m 低く、クスコで高山病にかかってもマチュピチュに来れば治る事が良く有ります。



(朝のマチュピチュ遺跡 5/18 日)

○クスコにて

今年はアメリカのダラス、ペルーの首都リマを経由しインカの都クスコへ。ところがダラスからの飛行機が機体トラブルとかで遅れ、クスコ到着が翌日のお昼、何と 28 時間の旅でした。疲れた体を気遣って昼食は簡単に済ませ市内観光へ。到着初日は体を使うと高山病のリスクが上がるので、聖ドミンゴ教会と 12 角石の見学に絞りました。なぜここを選んだかと言えば、聖ドミンゴ教会はインカ皇帝の王宮が有った所、12 角の石は剃刀の刃も通さないとと言われる芸術的なインカの石組が見られるからです。



インカ時代から続く機織りのデモンストレーションをする少女達 (5/13 日)



○トレッキング開始

クスコ、オリヤンタイタンボと泊り、ウルバンバの鉄道 82Km 地点からインカトレックをスタート。雲は多めでしたが、まずまずのコンディション、サボテンの生える乾燥地帯を進み、最初の幕営地点ワイリヤバンパへ。夕食後、降るような星空の中に南十字星を見つけました。別名サザンクロスはロマンチックな名前とは裏腹に、初めての方は容易に見つけることが出来ません。ところで気になる天気はどの Web を見ても残念ながら明日から 1 週間 曇りや雨、5 月は乾季ですが！ 山の天気は全く気まぐれで、ここインカ道も例外にもれず翌朝はなんと快晴、爽やかな気分でコースの難所ワルミワニユスカ峠 (4215m) へ向け高度を上げて行きました。



○インカ道 A

4200mのワルミワニユスカ峠は珍しく午後になっても雲が湧かず、強い日差しが照りつけました。そんな中、ジャンプ一発集合写真。この峠を越えてからの二日半が名実共にインカ人が造ったインカ道を歩きます。

翌朝 TENT を叩く雨音で目を覚まし、天を仰げば分厚い雨雲。出発時間を遅らせて様子見するも、雨足は更に早く本降りになり、予報が当たったと妙に感心。ところがセカンドパス (3950m) を登った辺りで雨が止み、氷河をいただく連山が遠望されました。昼食後、所により土台から 5m 以上も綺麗に積み上げられた石組みの道を踏み締め、トレック最後の幕営地プユパタマルカへ。この地で天溪インカ道トレック 11 回目にして初が起きました。それは夕日に輝くサルカンタイ山 (6271m) の出現です。今まで午後には濃い霧に包まれ、全く見る事が出来なかったのが感激でした!!



(夕焼けのサルカンタイ山 5/16 日)



○インカ道 B

インカ道の最終日は標高 3600mのプユパタマルカからマチュピチュ遺跡まで標高差 1200mを一気に下ります。下るにつれインティパタやウイニャワイニャなど綺麗な遺跡が現れ、待望のマチュピチュ遺跡に近づいている気がしてきます。

ウイニャワイナのチェックポイントを過ぎ、マチュピチュ山(3082m)の斜面をトラバース気味に進むと、生い茂るジャングルの隙間からウルバンバ溪谷へ 300mを超える絶壁が幾度も顔を出します。よくこんなところに道を作ったものだと感心しながら注意して進み、最後に石段を登るとインティブंक(太陽の門)に到着。ここで初めてマチュピチュ遺跡が目の前に飛び込んで来ました。



(ウルバンバ川に切落ちるインカ道 5/17 日)



○マチュピチ遺跡

インカ道を走破の後、何とおまげが遺跡観光と正面に聳えるワイナピチュ山(2668m)の登頂。朝 5 時にホテルを出て遺跡行きのバス停へ向かうと既に 100m以上の長蛇の列、遺跡観光の熱気を感じました。この日の遺跡は朝から雲一つないもの凄い快晴、これも私が今まで経験したことのない素晴らしいさでした！

下の写真はワイナピチュ頂上での一コマ。時間を遅らせ登ったせいかラッキーにも頂上を独り占め。抜けるような青空の後ろに実はマチュピチの聖山サルカントイが写っています。贅沢な話ですが、余りの晴天に哀愁のインカは活況のインカへ。ワイナピチュ登頂後、サンクチュアリーロッジでバイキングの昼食を取り（一部工事中で残念）、再び遺跡の見学へ。そして午後 2 時半、インカ道や数々の遺跡の思いを胸に下山。午後 4 時のビスタドーム列車でオリヤンタイタンボへ、そして車に乗り換えクスコへ戻りました。



(ワイナピチュ山 山頂 5/18 日)



○ナスカの地上絵

最終日はリマから車でパン・アメリカン・ハイウエーを走り、砂漠地帯の太平洋岸を南下。日本人の移民が最初に上陸した地を見学してからピスコ空港へ。そこで双発の小型機に乗り換え、ナスカ地上絵の遊覧飛行に出かけました。今年も筆者は空港に待機し、フライト中の写真は有りません。

<快晴のマチュピチ遺跡>



快晴のマチュピチ遺跡 (2017年5月18日午前7時30分)

記 天溪 赤沼

夏季 前半の 天溪ツアーは次の日程で連続して行われます

6/20 日発 「花のスイス・アルプスハイキング 9 日間」

6/28 日発 「花のスイス・アルプスハイキング 9 日間」

7/ 6 日発 「花のカナディアンロッキー 9 日間」

7/11 日発 「ツールドモンブラン 10 日間」

7/18 日発 「ツールドモンテローザ 10 日間」

7/25 日発 「スイス楽園ハイキング 10 日間」